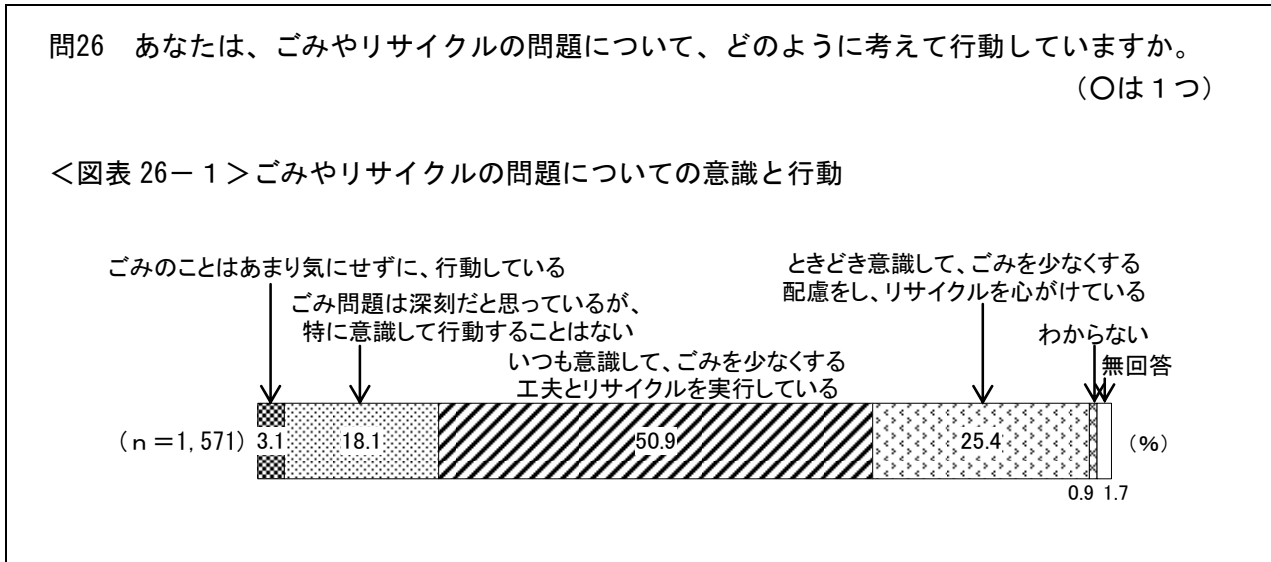


7 【3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進について】

(1) ごみやリサイクルの問題についての意識と行動

◇「いつも意識して、ごみを少なくする工夫とリサイクルを実行している」は5割



ごみやリサイクルの問題についての意識と行動について聞いたところ、「いつも意識して、ごみを少なくする工夫とリサイクルを実行している」(50.9%)が5割となっており、以下、「ときどき意識して、ごみを少なくする配慮をし、リサイクルを心がけている」(25.4%)、「ごみ問題は深刻だと思っているが、特に意識して行動することはない」(18.1%)、「ごみのことはあまり気にせずに、行動している」(3.1%)などが続く。(図表 26-1)

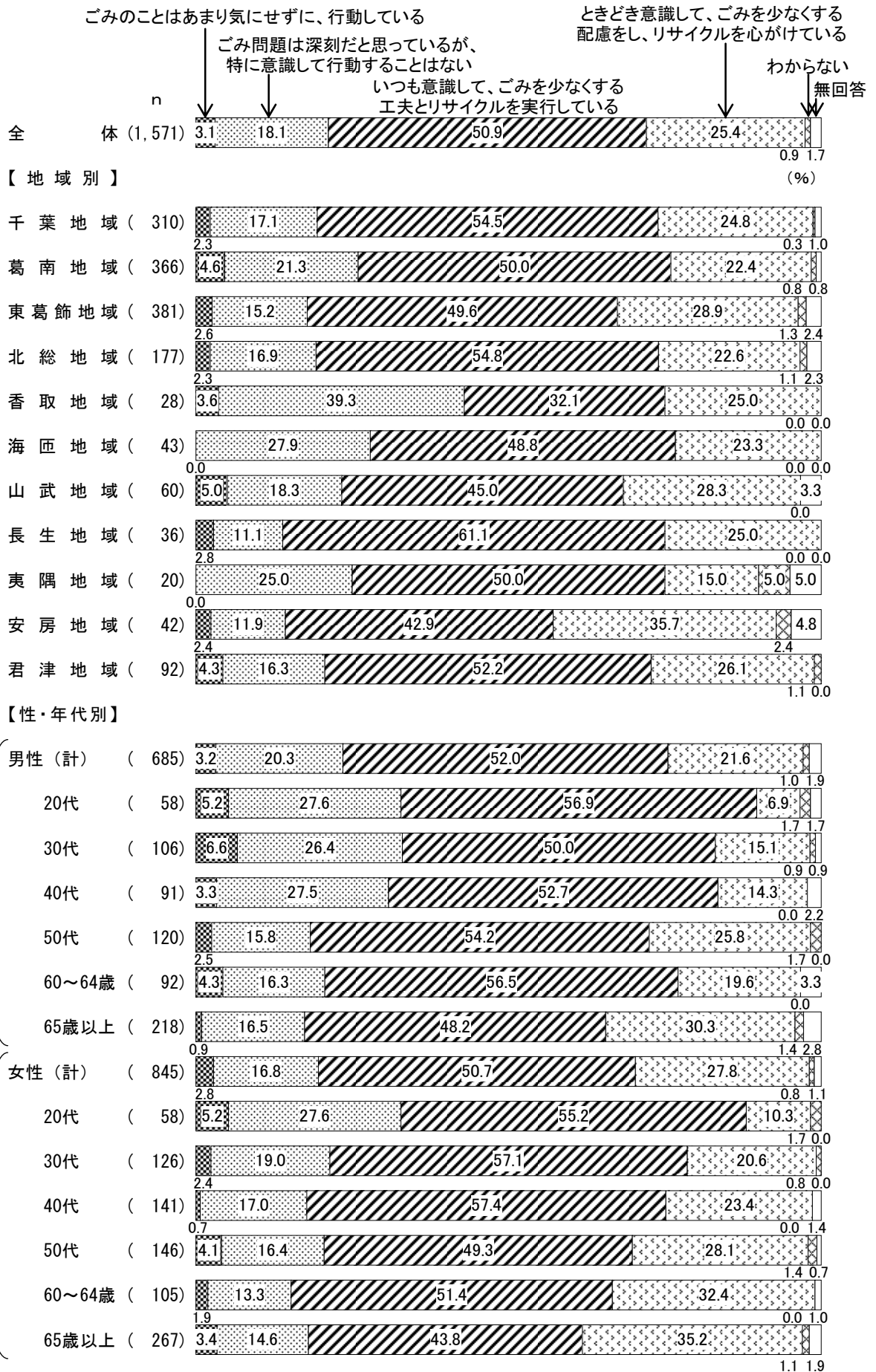
【地域別】

地域別にみると、「いつも意識して、ごみを少なくする工夫とリサイクルを実行している」は“長生地域”(61.1%)が6割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表 26-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「いつも意識して、ごみを少なくする工夫とリサイクルを実行している」は65歳以上の女性を除くすべての年代で概ね5割以上となっている。「ごみ問題は深刻だと思っているが、特に意識して行動することはない」は男性の20代から40代と女性20代で3割近くと他の年代に比べて高くなっている。(図表 26-2)

<図表 26-2> ごみやリサイクルの問題についての意識と行動／地域別、性・年代別

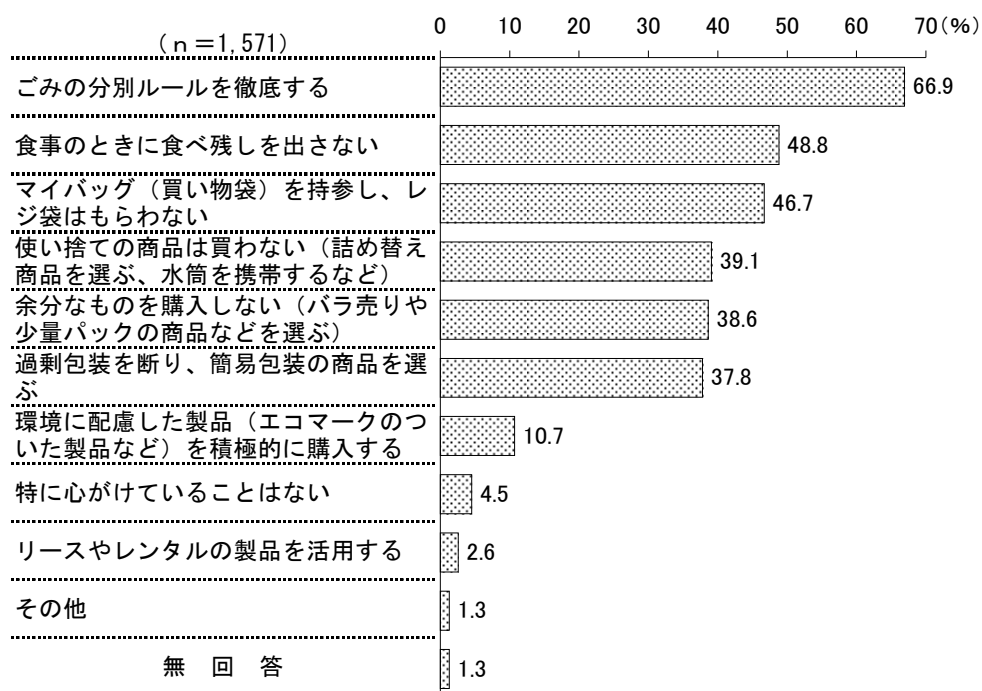


(2) ふだんのごみ減量・リサイクルの心がけ

◇「ごみの分別ルールを徹底する」が6割台半ば

問27 あなたは、日頃の暮らしの中でごみを減らすため、またはリサイクルするために、どのようなことを心がけていますか。(〇はいくつでも)

<図表 27-1>ふだんのごみ減量・リサイクルの心がけ



ふだんのごみ減量・リサイクルの心がけを聞いたところ、「ごみの分別ルールを徹底する」(66.9%)が6割台半ばとなっており、以下、「食事のときに食べ残しを出さない」(48.8%)、「マイバッグ（買い物袋）を持参し、レジ袋はもらわない」(46.7%)などが続く。(図表 27-1)

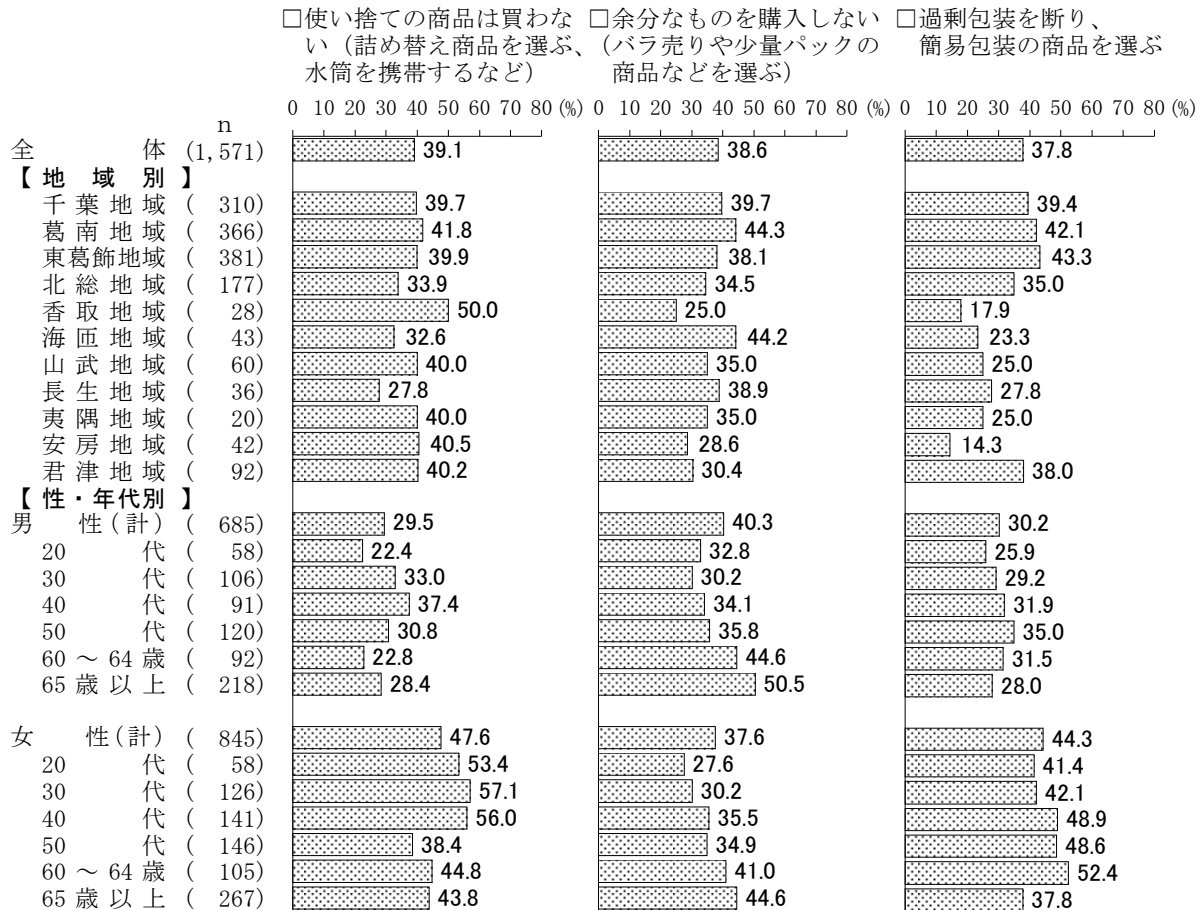
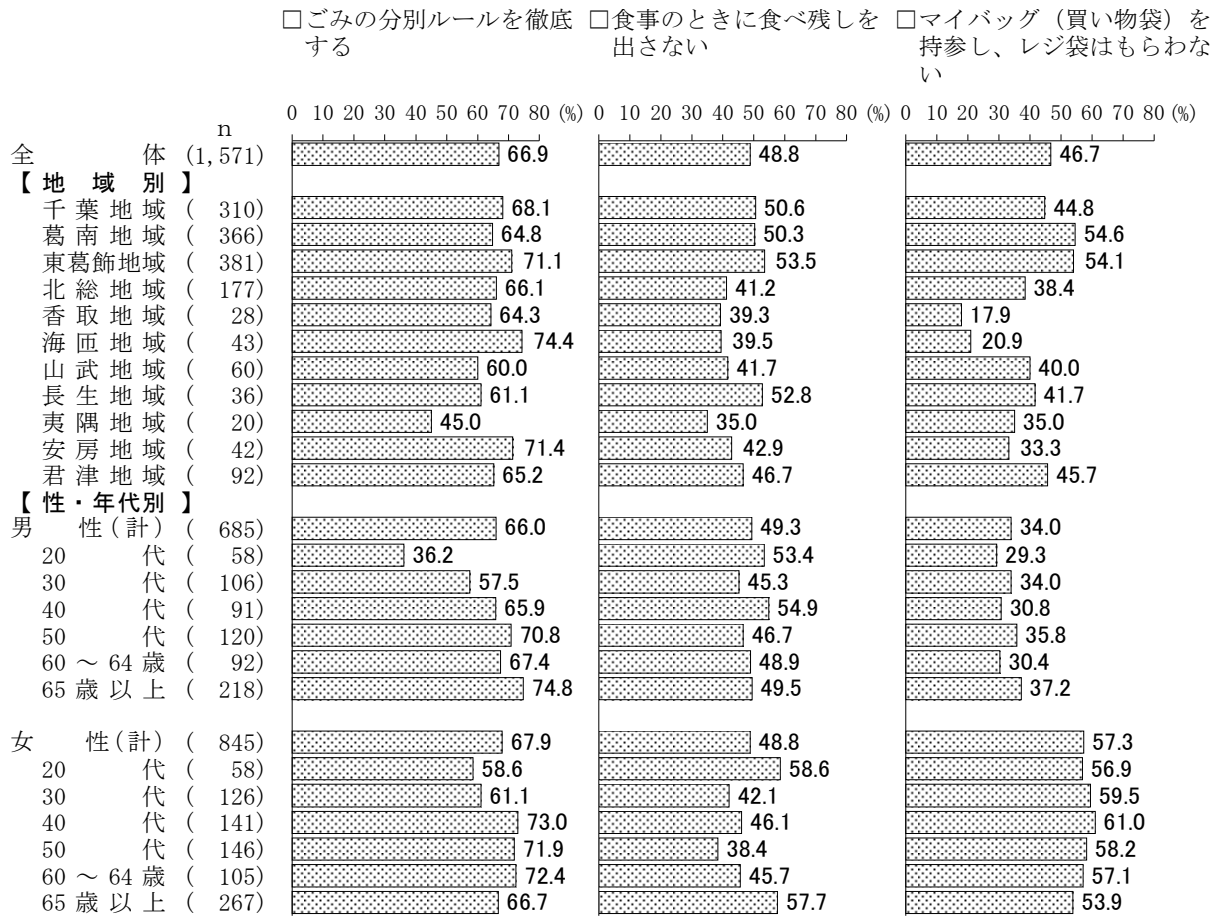
【地域別】

地域別にみると、「ごみの分別ルールを徹底する」は“夷隅地域”(45.0%)を除くすべての地域で6割以上となっており、“海匝地域”(74.4%)で7割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。「マイバッグ(買い物袋)を持参し、レジ袋はもらわない」は“葛南地域”(54.6%)と“東葛飾地域”(54.1%)で5割台半ばとなっている。(図表 27-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「ごみの分別ルールを徹底する」は男性20代(36.2%)で3割台半ばと低く、男女ともに40代以上のすべての年代で7割前後と高くなっている。「マイバッグ(買い物袋)を持参し、レジ袋はもらわない」は男性のすべての年代で3割前後であるのに対し、女性はすべての年代で5割から6割と高くなっている。(図表27-2)

<図表 27-2> ふだんのごみ減量・リサイクルの心がけ／地域別、性・年代別

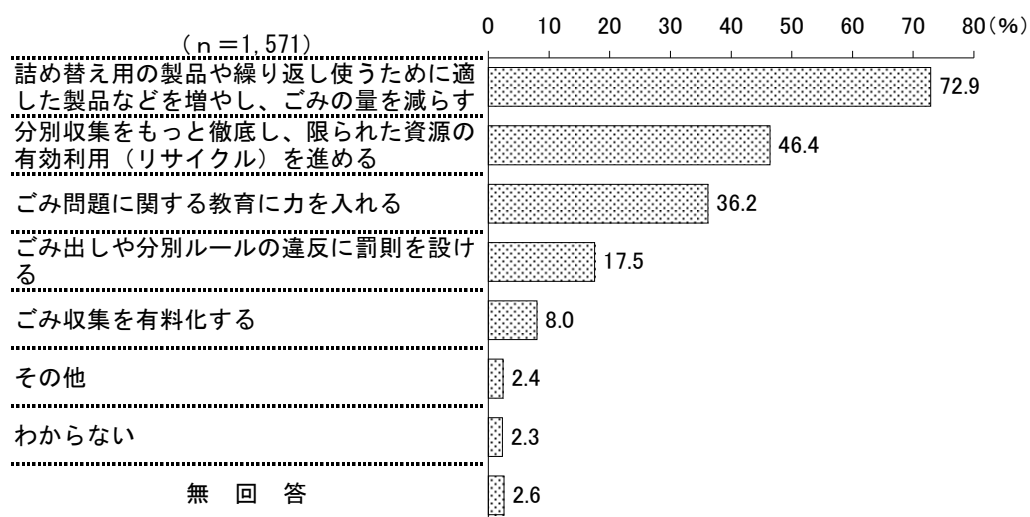


(3) ごみ問題に関する今後の取り組み

- ◇「詰め替え用の製品や繰り返し使うために適した製品などを増やし、ごみの量を減らす」が7割を超える

問28 今後のごみ問題について、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)

<図表 28-1> ごみ問題に関する今後の取り組み



ごみ問題に関する今後の取り組みを聞いたところ、「詰め替え用の製品や繰り返し使うために適した製品などを増やし、ごみの量を減らす」(72.9%)が7割を超えており、以下、「分別収集をもっと徹底し、限られた資源の有効利用(リサイクル)を進める」(46.4%)、「ごみ問題に関する教育に力を入れる」(36.2%)などが続く。(図表 28-1)

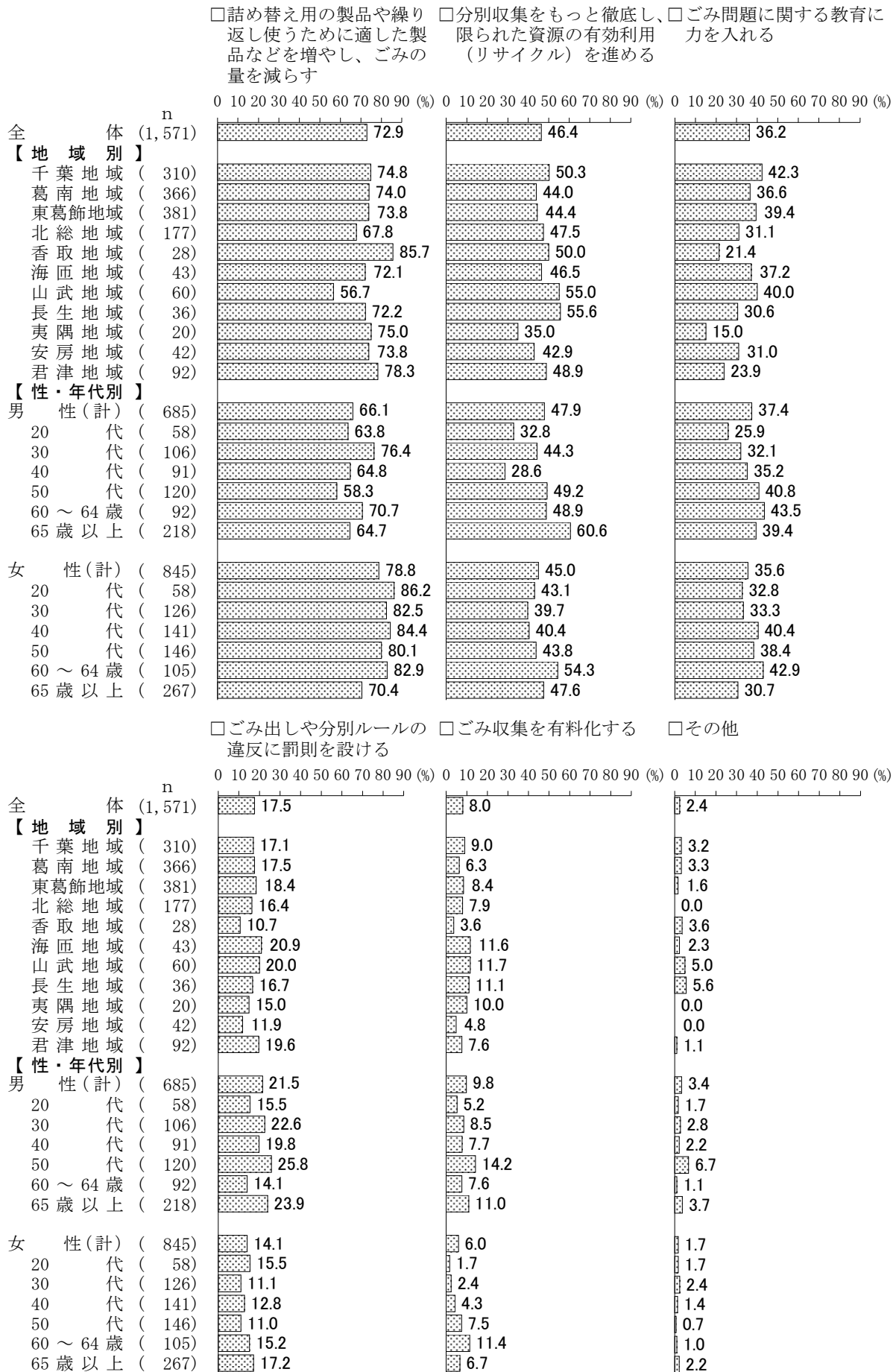
【地域別】

地域別にみると、「詰め替え用の製品や繰り返し使うために適した製品などを増やし、ごみの量を減らす」は“北総地域”(67.8%)と“山武地域”(56.7%)を除くすべての地域で7割を超えている。(図表 28-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「詰め替え用の製品や繰り返し使うために適した製品などを増やし、ごみの量を減らす」はすべての年代で男性より女性の割合が高く、女性20代(86.2%)と40代(84.4%)で8割台半ばとなっている。「分別収集をもっと徹底し、限られた資源の有効利用(リサイクル)を進める」では男性65歳以上(60.6%)が6割で他の年代に比べて高くなっている。(図表 28-2)

<図表 28-2> ごみ問題に関する今後の取り組み／地域別、性・年代別



このほかに、「3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進について」やここまでの質問（問26～問28）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、129 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■ 「3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進について」の自由回答(抜粋)

- リサイクルポイントをためるとゴミ袋がもらえるみたいな、切手がもらえる等の楽しみや何か恩恵があると、今まで興味のなかった人達にも広まるかもしれません。（女性・50代・東葛飾地域）
- 子供にきちんと教育することが基本と考えます。いずれ大人になった時に成果は必ず表れると思います。教育の現場に実体験を取り入れて実際に目で見て経験させる事も時には必要ではないでしょうか？（女性・60～64歳・東葛飾地域）
- 各市町村によって、ごみの分別ルールが、バラバラなので徹底してもらいたい。例えば燃えるゴミとプラスチックと一緒に混ぜて出してもOKな町がある。（男性・60～64歳・海匝地域）
- 家庭に眠っている不要品を集め必要としている所に再分配できるシステムを作ってほしい。（女性・50代・葛南地域）
- あまりにも、ごみ収集を有料化すると、不法投棄する人が増える気がします。（女性・30代・夷隅地域）
- 企業としては大変な事なのだろうが、包装の仕方をもっともっと簡易的にすべきだと思う。かつて個人商店の時代（子どもの頃）新聞に包んだ野菜、魚あたり前でした。容器持参での販売等…ドイツのようにスーパー等では容器に食材を移し、包装してあるものをその場で回収しているなどよいと思う。（女性・40代・長生地域）
- ゴミを分別しても、何にリサイクルされているのかがよく分からない。もっとリサイクルの実状をアピールした方がよいのではないか。「あなたの○○ゴミが○○に生まれかわっています」など具体的に…。（女性・30代・北総地域）
- リサイクルするよりも、新たに生産した方がコストがかからないという現実もあるようなので、コストという壁を乗り越えられたらますますリサイクルも加速していくのではと考えている。（女性・20代・長生地域）
- ごみステーションに分別をきちんとせずに捨てていく方がいる。ゴミ収集では持って行ってくれないし、ゴミステーションが汚れ、そうじするのが大変なのでそういう方（くり返し分別をしないなど）には罰則とまではいかずとも注意くらいはしてほしい。（男性・20代・海匝地域）
- 『プラ』の表示のゴミが多いので早く『プラ』のゴミ分別日を作ってほしいです。（女性・30代・千葉地域）